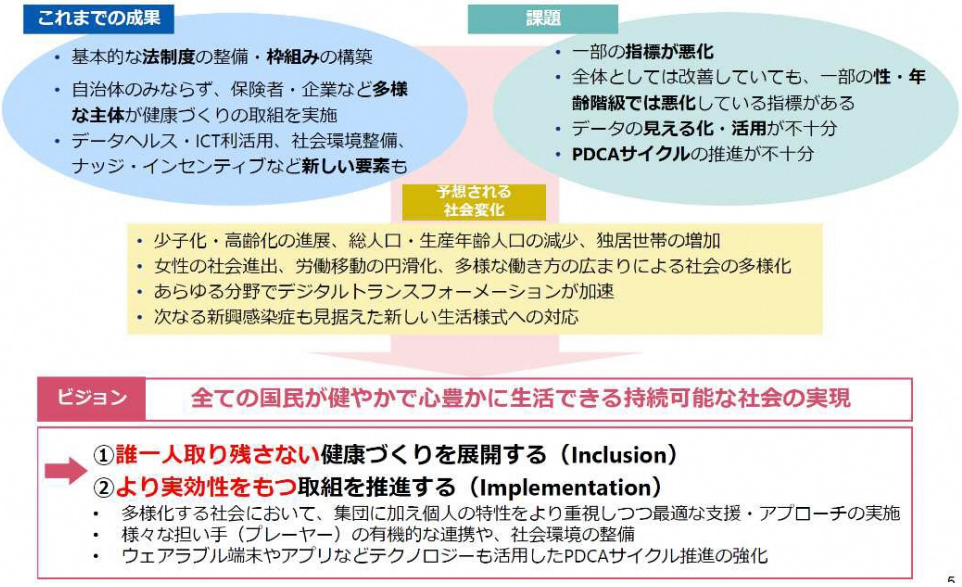
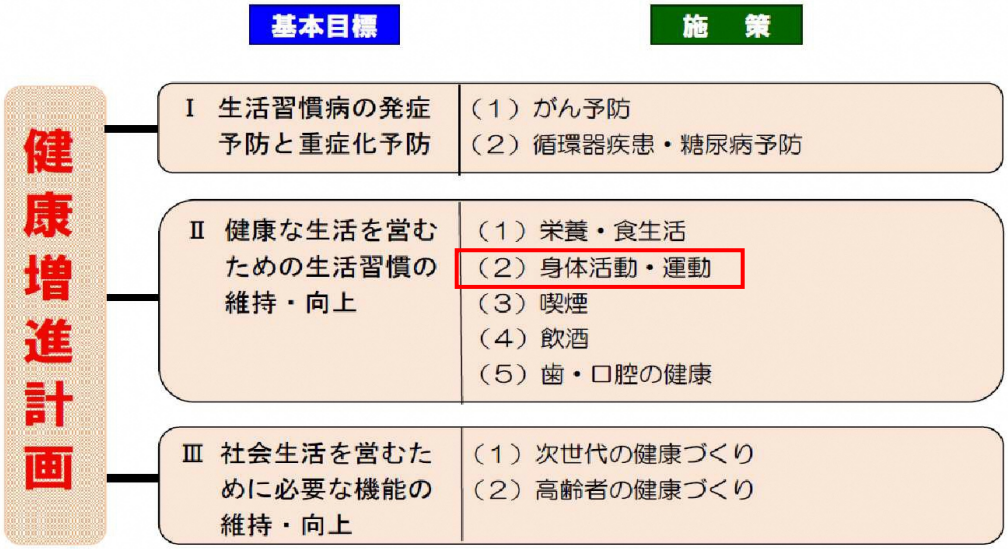
資料２：「健康」「スポーツ」「観光」に関する計画や状況

１．「健康」に関する関連計画

①国の方針・計画：健康日本 21（第三次）

目的・趣旨	**健康寿命の延伸・健康格差の縮小が健康日本 21（第三次）における最終的な目標** 全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現 ①誰一人取り残さない健康づくりを展開する（Inclusion） ②より実効性をもつ取組を推進する（Implementation） ・ 多様化する社会において、集団に加え個人の特性をより重視しつつ最適な支援・アプローチの実施 ・ 様々な担い手（プレーヤー）の有機的な連携や、社会環境の整備 ・ ウェアラブル端末やアプリなどテクノロジーも活用した PDCA サイクル推進の強化 
計画期間	令和６（2024）年度から令和 17（2035）年度
主な施策	・健康寿命の延伸・健康格差の縮小 ・生活習慣の改善 ・生活習慣病（NCDs）の発症予防／重症化予防 ・生活機能の維持・向上 ・社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上 ・自然に健康になれる環境づくり ・誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備 ・ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり
新鶴の関連施策等	① 日常生活における歩数の増加 ② 運動習慣者の増加 ③ 運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少

②会津美里町の計画：第３次会津美里町健康増進計画

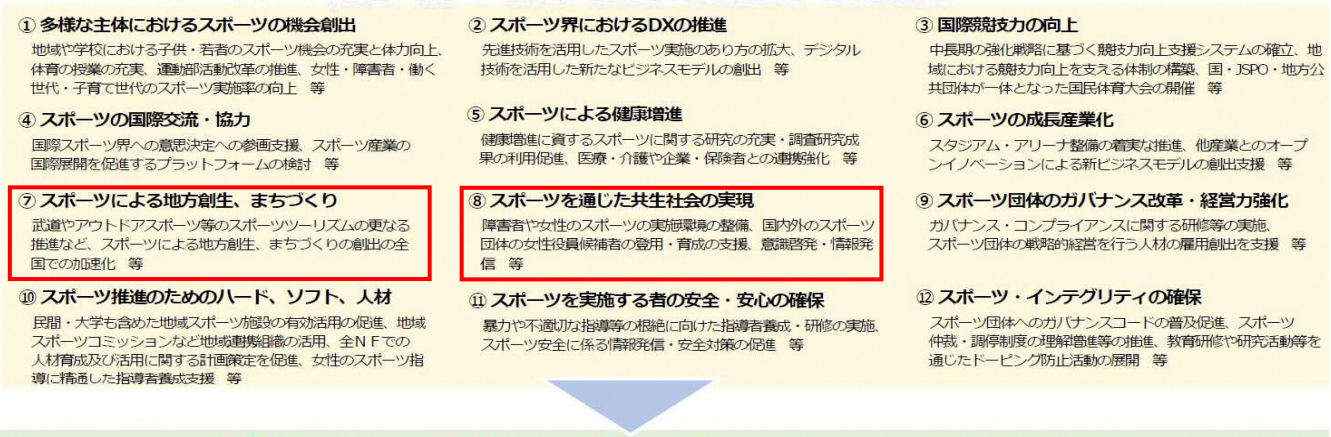
目的・趣旨	「会津美里町第３次総合計画」において保健・福祉分野では、「健やかで人にやさしいまちづくり」をスローガンに掲げ、子どもからお年寄りまで、町民が地域で健やかに暮らすことができるための取組みを行っている この計画では、町民一人ひとりが心身の健康づくりや食育活動を実践していくための目標として、「基本目標」と具体的な「施策」を示し、健康寿命延伸に向けて、日常生活においてできることから健康づくりを実践し、「安心して健康に暮らせる会津美里町」の実現をめざす。
計画期間	平成 ３１年度から令和７年度
施策体系図	① 生活習慣病の発症防と重症化予防 ② 健康な生活を営むための生活習慣の維持・向上 ③ 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上 
新鶴の関連施策等	施策（２）身体活動・運動 ① 運動を習慣化する人の増加 ② 個人の生活サイクルや健康状態に応じた身体活動の増加 ③ 運動の習慣化を効果的に進めるための関係機関との連携強化

２．「スポーツ」に関する関連計画

①第３次スポーツ基本計画

目的・趣旨	①　スポーツで「人生」が変わる ②　スポーツで「社会」を変える ③　スポーツで「世界」とつながる ④　スポーツで「未来」を創る １．「つくる／はぐくむ」 ２、「あつまり、ともに、つながる」 ３、「誰もがアクセスできる」
計画期間	令和４年から令和８年
施策体系図	・東京大会の成果を一過性のものとしない持続可能な国際競技力の向上 ・東京大会を契機とした共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進 ・東京大会に向けて培われた官民ネットワーク等を活用したスポーツを通じた国際交流・貢献 ・安全・安心に大規模大会を開催できる運営ノウハウの継承 ・東京大会で高まった地域住民等のスポーツへの関心の高まりを活かした地方創生・まちづくり ・東京大会の開催時に生じたスポーツを実施する者の心身の安全・安心確保に関する課題を踏まえた取組の実施

３．今後５年間に総合的かつ計画的に取り組む１２の施策



5． スポーツによる健康増進

■今後５年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

本文該当記載 P.47～48

【政策目標】
地域住民の多様な健康状態やニーズに応じて、関係省庁で連携しつつ、スポーツを通じた健康増進により健康長寿社会の実現を目指す。また、健康寿命の延伸に、スポーツ実施率の向上を通じて貢献する。

① 健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進

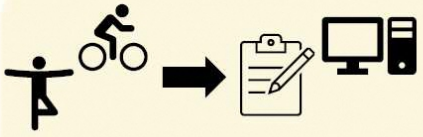
【現状】

・スポーツによる健康増進に関するエビデンスは蓄積されてきているが、それらをまとめて、活用するための体制が整備されていない。
・健康診断においては有所見でも、自己認識としては健康と認識している人も多い現状が見られるが、健康であると自己認識している人については、健康のためにスポーツをしようと思う人は少ないとの指摘がある。

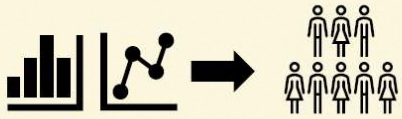
【今後の施策目標】

○ **スポーツと健康の関係やスポーツ実施促進の効果的な方法等についての科学的知見を蓄積し、その蓄積の普及・活用を通じてスポーツを通した健康増進を図る。**

【主な具体的施策】



地方公共団体に対し、各地域の実態に応じた効果的なスポーツ実施促進施策について、調査・検討を行えるよう支援する。



心身の健康に資するスポーツ等の研究を支援し、これらの科学的根拠をまとめる体制を構築するとともに、地方公共団体やスポーツ関係団体に、まとめた情報をわかりやすく周知する。

37

7． スポーツによる地方創生、まちづくり

■今後５年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

本文該当記載 P.51～54

【政策目標】
全国各地で特色ある「スポーツによる地方創生、まちづくり」の取組を創出させ、スポーツを活用した地域の社会課題の解決を促進することで、スポーツが地域・社会に貢献し、競技振興への住民・国民の理解と支持を更に広げ、競技振興と地域振興の好循環を実現する。

①スポーツによる地方創生、まちづくり

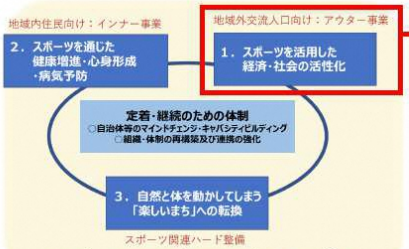
【現状】

これまで国のスポーツによる地域振興施策の中心であった「スポーツツーリズム」については、各地でほう芽が見えつつあるが、この数年は新型コロナの影響等による人流抑制のために苦戦している。また、担い手である「地域スポーツコミッション」の設置数は一定水準に達しつつあるが、今後地域に求められる組織に発展していくために「質の向上」が必要である。こうした中、国は東京大会等のスポーツ・レガシーを、ツーリズムだけでなく、広くスポーツによるまちづくり（スポーツ・健康まちづくり）に活かしていくこととしている。

【今後の施策目標】

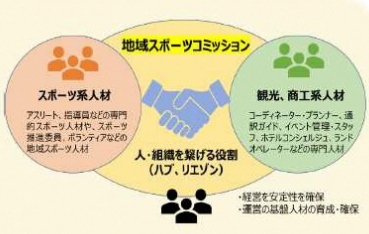
○ 全国各地域が「スポーツによる地方創生、まちづくり」に取り組み、それらを将来にわたって継続させ、各地に定着させるよう、促進する。その結果として、スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団体の割合を2026年度末に15.6%（令和３年度）から40%とする

【主な具体的施策】



スポーツ・健康まちづくりの推進

コンテンツの開発の促進



担い手の「質の向上」へのサポート

40

３．「観光」に関する関連計画

①観光立国推進基本計画

目的・趣旨	観光の質的向上を象徴する「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の３つをキーワードに、持続可能な観光地域づくり、インバウンド回復、国内交流拡大の３つの戦略に取り組むこと
計画期間	令和５年度から令和７年度
施策体系図	主な施策 ・観光地・観光産業の再生・高付加価値化 ・観光 DX、観光人材の育成・確保 ・持続可能な観光地域づくりのための体制整備等 ・コンテンツ整備、受入環境整備 ・高付加価値なインバウンドの誘致 ・アウトバウンド・国際相互交流の促進 ・国内需要喚起 ・ワーケーション、第２のふるさとづくり ・国内旅行需要の平準化

○ 観光はコロナ禍を経ても**成長戦略の柱、地域活性化の切り札。国際相互理解・国際平和**にも重要な役割。
○ コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ、**我が国の観光を持続可能な形で復活させる。**
○ **大阪・関西万博**も開催される**2025年に向け、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」**をキーワードに、**「持続可能な観光地域づくり」「インバウンド回復」「国内交流拡大」**に戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる。

計画期間：
令和5～7年度
（2023～2025年度）

基本的な方針

持続可能な観光地域づくり戦略

■観光振興が**地域社会・経済に好循環**を生む仕組みづくりを推進する
■観光産業の**収益力・生産性を向上**させ、**従事者の待遇改善**にもつなげる
（「稼げる産業・稼げる地域」）
■**地域住民の理解**も得ながら、地域の**自然、文化の保全と観光を両立**させる
（「住んでよし、訪れてよし」）

インバウンド回復戦略

■**消費額５兆円の早期達成**に向けて、施策を総動員する
■**消費額拡大・地方誘客促進を重視**する
■**アウトバウンド復活**との相乗効果を目指す

国内交流拡大戦略

■国内旅行の**実施率向上、滞在長期化**を目指す
■旅行需要の平準化と関係人口の拡大につながる**新たな交流需要の開拓**を図る

目　標

■**早期達成を目指す目標**：インバウンド消費５兆円、国内旅行消費20兆円
■**2025年目標**（質の向上を強調し、人数に依存しない指標を中心に設定）

持続可能な観光地域づくり	地域づくりの体制整備	① **持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数【新】**	**100地域**
	インバウンド回復	② **訪日外国人旅行消費額単価【新】**	**20万円/人**
		③ **訪日外国人旅行者一人当たり地方部宿泊数【新】**	**2泊**
		④ 訪日外国人旅行者数	2019年水準超え
		⑤ 日本人の海外旅行者数	
		⑥ 国際会議の開催件数割合	アジア最大・3割以上
	国内交流拡大	⑦ 日本人の地方部延べ宿泊者数	**3.2億人泊**
		⑧ 国内旅行消費額	**22兆円**

主な施策

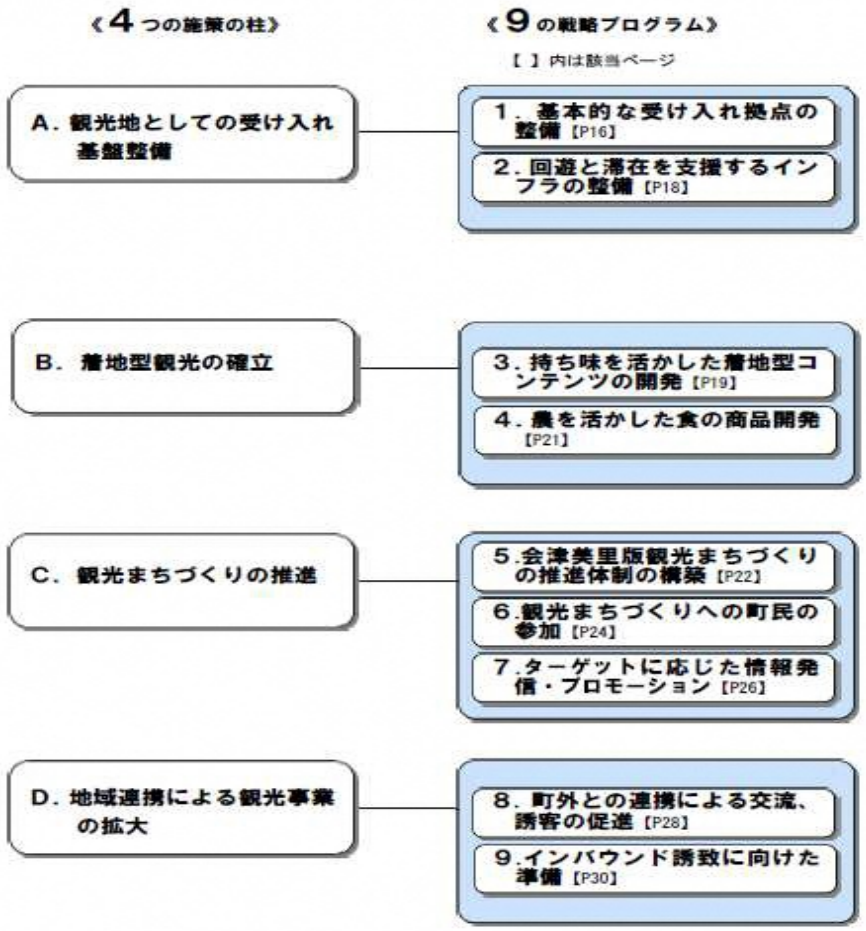
■観光地・観光産業の再生・高付加価値化
■観光DX、観光人材の育成・確保
■持続可能な観光地域づくりのための体制整備等
■コンテンツ整備、受入環境整備
■高付加価値なインバウンドの誘致
■アウトバウンド・国際相互交流の促進
■国内需要喚起
■ワーケーション、第２のふるさとづくり
■国内旅行需要の平準化

目指す2025年の姿

■ **活力に満ちた地域社会**の実現に向け、**地域の社会・経済に好循環**を生む**「持続可能な観光地域づくり」**が**全国各地**で進められ、**観光の質の向上、観光産業の収益力・生産性の向上、交流人口・関係人口の拡大**が**コロナ前より進んだ形で観光が復活**している
■ 万博の開催地である我が国が**世界的潮流を捉えた観光地**として脚光を浴び、**「持続可能な観光」の先進地**としても注目されている

新鶴の関連施策	○スポーツツーリズムの推進 継続的な合宿・キャンプの誘致やスポーツ施設の整備に加え、各地域の自然資源を活用したアウトドアスポーツのコンテンツ開発に取り組む

②会津美里町の観光振興計画

目的・趣旨	計画策定により、具体的な施策･事業内容を見直すとともに、その実施主体、実施時期をより明確にし、関連主体との連携の下で各実施主体が持ち味を活かした事業を展開することで、目標としてあげた「観光入込数」と「観光消費額」のアウトカム指標の向上につなげていくこと
計画期間	令和 3 年（2021 年）度から令和 7 年（2025 年）度
施策体系図	
新鶴の関連施策等	●アウトドアツーリズム ・本町の自然資源や景観を活かすことができ、さらに近年関心の高まっているキャンプ、自転車ツアー、ハイキング等アウドアアクテビティによる体験プログラムの開発し、滞在型のコンテンツを開発する。